



令和2年度 活動報告

新型コロナウイルスの感染拡大により、さまざまな制約がありましたが、「今だからこそできること」をから始めました。

プロジェクトテーマ ごとの活動状況

...令和元年度の生きもの会議で討議したテーマから抜粋

みどりや生きものに関する情報共有

スマートフォン
による生物調査

区立瀬田四丁目旧小坂緑地にてデモンストレーションを実施した「サーベイ123」による調査を試行。22名の方から238件の報告をいただき、結果は生きもの会議のWebページで公開しています。

既存調査データ
の一元化

ボランティアの皆さんを中心に集められた貴重な調査資料を活用できるよう、一元化します。今年度は、区立桜丘すみれば自然庭園の記録を整理。今後、他の活動場所での記録と併せ、共有を目指します。

すそ野を広げる/ノウハウを広げる

専門家派遣

都立園芸高等学校昆虫部で、調査指導を行いました。部員は調査計画の立て方や調査手法などを学ぶことで、一層専門的な調査が可能になります。次代を担う**新たな専門家**を育てる貴重な第一歩になりました。各団体のステップアップにも派遣制度をご活用ください。

広報手段

情報発信

裏面でご紹介

生きもの会議のWebページを立ち上げました。情報発信、情報共有にご利用ください。

<https://ikimonokaigi/tokyo/>



せたがや生きもの会議

検索

学校との連携

小学校出前講座

裏面でご紹介

区立小学校4年生を対象に、校庭や学校近くの公園にスポットを当てたオリジナルの**自然観察ガイド**を作成。また、自然観察のポイントを紹介する**動画「小さな生きもの暮らし」**を制作、YouTube（世田谷区オフィシャルチャンネル）で公開しています。

動画はこちらから



生きもの会議 メンバーの活動

調査

調査
助言・監修

講師

制作

講師
解説員
制作



小学校出前講座 を実施しました

区立小学校4年生を対象にした自然観察「みどりの出前講座」。今年は対面の講座を中止しましたが、生きもの会議のメンバーが作成したオリジナルのガイドを実施校に配布しました。専門家による解説は、各校で大変好評です。

山崎小学校・羽根木公園/先生用（講師：山崎裕志さん） 八幡山小学校・將軍池広場/児童用（講師：今田裕実子さん）

【樹林広場】



イチョウ スダジイ

イチョウの黄葉が始まっている。
ドングリのできる樹としてスダジイ、シラカシ、マテバシイ、クスギがある。マテバシイのドングリも温めると美味しく、ドングリクッキーの材料にも使われる。
球技広場近くにカキ、クリの木がある。ナワシログミの花にはキンケハラナガツチバチ、ヒメハラナガツチバチ、イチモンジセセリなどが集まる。ツチバチ類はおとなしいハチで捕まえないければ射されることは無い。
広場ではキダキチョウ、ウラギンシジミなどのチョウ類が見られた。



クスギ マテバシイ
スダジイ シラカシ
コナラ1、ナラガシワ3
(東松原口付近で拾う)

將軍池広場 みどころ地図



モッコクの葉
シロダモ オスの木 まだ花があるかも？ シロダモの葉！
赤い実があざやかなセンリョウ（千両）やマンリョウ（万両）は縁起のよい木としてお正月などに使われます。
ヒイラギモクセイ イヌマキ ヒノキ カタハミ 榎
センリョウ スダジイ...このどんぐりはあくがなく、炒るだけで食べられます。紙袋に入れて電子レンジでも、2年型のどんぐり。
ヒナカキ
シラカシ
エノキ
ヒノキ
モッコク
ケヤキ
ヒノキ
ドウネズミモチ
ヒラドツツジ
イロハモミジ
ケヤキ
カナメモチ
イチョウ
赤い実
豆柿
カナメモチ
イチョウ
ケヤキ
シラカシ...どんぐりが落ちているかな？
モッコクの実が割れて中の赤い実が落ちていないかな？
将軍池
イイギリ 実が赤から紫になるよ
赤松
シラカシ...どんぐりが落ちているかな？
エノキの葉...南米原産のシソ科植物。シソ科は葉が四角い。
エノキの実の甘さは人も味わえます。緑色～茶色果肉は薄くほとんどタネなので、飲み込まないで、甘味を感じる程度ですが。

生きもの会議の ホームページを 立ち上げました

生きもの会議の広報のため、Webページを立ち上げました。各団体の紹介、活動報告やイベント情報、助っ人募集などにご活用ください。

<https://ikimonokaigi/tokyo/>

🔍 検索

せたがや生きもの会議

せたがや生きもの調査



ホーム

せたがや生きもの会議とは

団体紹介

イベント紹介

助っ人募集

マップ

情報発信、情報共有等の記事を募集

令和3年4月からWebページの運用を始めます。
別途詳細をご案内しますので、ぜひご活用ください。

試行調査の結果をマップで公開
(生きものマップ)



「世田谷生きもの会議」開催の経緯

「生きものつながる世田谷プラン」の策定にあたっては、生物多様性に配慮した活動をされている多くの方々からご意見をいただき、活動団体同士の連携や、知識・ノウハウの共有、現場のマンパワーなどが課題として挙げられました。こういったご意見を受け、皆さんの活動に役立てられる場として、「生きもの会議」を立ち上げました。

